

② ゆれの大きさと地震の規模

ある地点での地震によるゆれの大きさは (^{しんど}震度) で表される。

↓
その階級は (0) ~ (7) の (10) 階級に分けられる。

ふつう震度は、震央に近いほど (大き) くなり、震央から離れた地点ほど (小) くなる。

震源からの距離が同じ地点では、震度の大きさは必ず同じか？

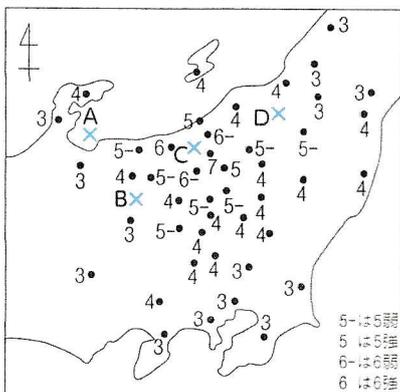
↓
(同じ or ちがう) その場所の 地盤のつくり によって震度は左右されるから。

地震の規模の大小は (マグニチュード) で表される。
記号 (M)

★ マグニチュードが 1 ふえると、
エネルギーが 約 (32) 倍 になる。

★ マグニチュードの大きい地震ほど、震央付近の震度は (大き) くなる。

★ マグニチュードの大きい地震ほど、地震によるゆれの範囲は (広) くなる。



(1) 震度とは、地震を観測した地点における (ゆれの大きさ) を表したものである。

(2) 左の図の地震の震央は A ~ D のうち (C) の地点である。

(3) 地震の規模の大きさを表すものを (マグニチュード) という。

(4) この地震のマグニチュードは 6.8 であった。同じ震源でこれよりも数値が大きい地震が起こったとすると、震央付近の震度の大きさは (大き) くなり、ゆれの伝わる範囲は (広) くなる。